

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マイクロンメモリジャパン株式会社 Fab15

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地7番10号

(3) 業種

集積回路製造業(2814)

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2（2020）年度を基準年度とし、令和6（2024）年度～令和12（2030）年度の7年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和2年度 (2020)	令和12年度 (2030)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
エネルギー 起源CO ₂	650,045	470,148 27.7	751,373 (15.6)	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス	792,331	370,352 53.3	273,628 65.5	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス 実排出量総計	1,442,376	840,500 41.7	1,025,001 28.9	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	基準年度排出量に対し、削減を実施中。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：



温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))						
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価									

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	エネルギー起源CO2	66%(2030年度目標) 24.3%(2024年度実績)	購入エネルギーに占める非化石化比率の向上
2	エネルギー起源CO2	期待効果：原油換算179 kL/年	工業用水有用利用によるポンプ及び冷凍機電力削減
3	その他温室効果ガスの削減	対象機器に対して導入を推進中	PFC除去可能な除害装置導入(2021年より継続中)
4	その他温室効果ガスの削減	対象機器に対して移行を推進中	High GWP HTFからLow GWP HTFへの移行(2021年より継続中)

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。